

平成 14 年度のライフサイエンス分野の重点領域における目標設定 のイメージ

(1) 高齢者に多い疾病の予防・治療技術の開発

目標

例：「健康寿命延伸による、健康寿命と平均寿命の差の短縮」

健康寿命を 10 年後に 3 年程度延伸し、平均寿命との乖離を 3 年程度（現在は 6.5 年）とする。

等

●小目標

- ・ 高血圧、糖尿病など健康寿命低下を引き起こす基礎疾患の予防・治療技術を開発し、○年後に生活習慣病患者数を○○%減少させる。
- ・ 痴呆、がん、骨折などの予防・治療技術を開発し「寝たきり」の方の数を○○%減少させる。

期待される効果

- ・ 健康で質の高い生活
- ・ 寝たきりや要介護者の割合の減少(○○%)
- ・ 医療費の削減(○○%)

具体的施策

例：

- ・ 上記疾患の SNPs データを○○個取得し、テイラーメイド医療の実現（予防・治療技術の開発）（一人当たりの投薬量を○○%削減）
 - ・ 蛋白質構造解析データ等の活用による創薬の加速（開発期間を○○年短縮）
 - ・ 機能性食品や診断技術の開発による予防技術の高度化（患者数の○○%低減）
- 等

(2) 物質生産及び食料・環境への対応のための技術開発

目標

例：「バイオテクノロジーの基盤技術の高度化による産業競争力の向上」

等

●小目標

- ・ 特許出願数の増加（特許出願を○○%増加）
 - ・ 基本技術の開発（グローバルスタンダードの取得）（基本特許○○件出願）
 - ・ 産学官の連携強化（産学官連携による特許出願数○○件、実用化件数○○件）
- 等

期待される効果

例：産業の発展（市場の拡大、雇用の増大）（関連市場○○兆円）

具体的施策

例：

- ・ 多様な生物資源の活用（極限環境微生物などのゲノム解析など）（有用遺伝子の発見○○年で○○個）
- ・ 微生物、植物、動物での遺伝子組換えの基盤技術・材料の開発（○○年で実用化○○件）等

（３） 萌芽的・融合的技術を用いた先端解析技術の開発

目標

例：「日本発の新しい解析機器、分析技術の開発」
等

期待される効果

- ・ 新しい研究領域の開拓（基本特許○○件出願）
- ・ ベンチャーの企業（○○年で○○社）

具体的施策

例：

- ・ 医学、工学、農学などの融合分野での新技術の開発（融合分野で特許出願○○年で○○件）
等

（４） 先端研究成果を社会に還元する制度・体制の構築

目標

例：「先端研究成果の社会への還元を加速する」（○○年で実用化○○件）
等

●小目標

- ・ 「技術の安全性の保障のための体制作り」（世界初技術の実用化○○件）
- ・ 「先端研究の臨床への応用」（トランスレーショナル拠点整備○○年で○○箇所）
- ・ 「戦略的な知的財産保護のための体制構築」（バイオの特許専門家○○人育成）

期待される効果

- ・ 実用化件数の増加（○○年で○○件）
- ・ 安全性に対する国民の理解の向上（○○%の人が理解を示す）

具体的施策

例：

- ・ 組換え体の安全性を保障する体制作り（世界初技術の実用化○○件）
- ・ 先端医療の臨床への応用のための拠点整備（トランスレーショナルリサーチ拠点整備○○年で○○箇所）
- ・ TL0 の強化（○○年で○○箇所の拠点整備、○○人の専門家育成）